

活動名 ホタル飛び舞う本郷川 ～地域と共に 地域で学ぶ 今津っ子～	団体名	今津にホテルを増やし隊
	地域	広島県福山市
	代表者	今津小学校 校長 戸羽 純士
	支援金額	25 万円

活動概要	
<p>校区を流れる本郷川では、ホタルが年々減りつつある。川の水質低下と河川敷に心ない人によるゴミ、空き缶のポイ捨て、家庭から流れる生活排水が原因ではないかと子ども達は考えた。福山市環境啓発課の協力のもと、川の水質検査を通して、ホタルが生息する川にするにはどうすることが大切かを学んだ。学んだ事を学校にも地域にも、ホタ音頭の踊りやポスター作成、実際の川掃除など、地域への環境保全意識の広がりをねらい、以下の活動を行った。</p> <p>◆実施時期・参加人数</p> <p>4 月 今津小学校全校児童にて「今津にホテルを増やし隊」の結成。 参加者 48 名</p> <p>5 月 今津小学校運動会のプログラムに組み入れてもらい、「ホタ音頭」を3年生の協力を得て披露。目的は地域の文化財産を増やしていくこと。 参加者 100 名</p> <p>6 月 本郷川水質検査を環境啓発課の指導の下で実施。 参加者 48 名</p> <p>6 月 3 日～5 日 本郷川水質低下や環境を守ろう、守っていくことを決意という発表原稿を作成。 参加者 48 名</p> <p>6 月 6 日「ホタルの夕べ」に参加。羽田皓福山市長等の来賓の方々、今津町内の皆様の前で本郷川の環境保全を訴え、ホタ音頭を踊った。 参加者 37 名</p> <p>10 月 本郷川水生生物調査を実施。 参加者 48 名</p> <p>10 月 21 日 活動計画にはなかった空き缶リサイクル活動のテレビ取材を受けた際、児童の希望で「ホタ音頭」を踊らせてもらった。 参加者 48 名</p> <p>11 月 昨年度今津ホテルの館長さんより頂いたホタルの卵から幼虫を育成し年間を通じて世話をしてきた。その幼虫を本郷川に放流し活動を終了。 参加者 48 名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 425 名</p>	



今津小学校運動会でホタ音頭を披露



ホタルの夕べ
出演者紹介のアナウンスを聞いて法被を自慢



ホタルの夕べで研究発表



水生生物調査中

◆実施に伴う効果

本活動を数年継続してきたが、今年度マツダ財団より援助を受け、ホタ音頭を踊る際に法被を揃えることができた。地域の皆様から「ホタ音頭が音頭らしくなってきたね」と、感想を頂いた。また、今津町自治会連合会も刺激になり、地域の文化祭など催しがある時には、ホタ音頭を地域の方々も踊られたり、音楽が流されるようになってきた。また、手作りのホタマンのキャラクターを制作されたり、缶バッジ・Tシャツを作成し、広く市民にホタルを大切にする町作り活動を広める機会となっている。

◆苦労した点

- ・ホタ音頭を使って広く今津町内の皆様に活動を知って頂くためには、おそろいの法被を用意することが不可欠だった。助成をいただきましたが、助成金にみあう法被を調達するのに苦労した。
- ・その他、参加者・地域の理解等は、別段問題はなかった。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・今年度あたりから、自治会を含めた地域の皆様から賛同する意見が多く寄せられ、活動が盛り上がりを見せている。また、地域も盛り上がりを見せている。キャラクター「ホタマン」が手作りで制作されたり、地域の安全パトロール会（登下校の安全を見守る会）のユニフォームにキャラクターを使って頂いた。今後、「今津町とは？」と問われたら、歴史あふれる史跡の町とホタルの保存を呼びかける町と、世間に知れ渡るような町にしていきたいと考え、ホタルを増やし隊の活動を継続していくことを考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・ホタルを増やし隊の活動メンバーである4年生が、法被を揃えたことによって団結力を強め、活動を広めていこうと意欲を継続して活動できたことがよかったです。この度、このマツダ財団の助成を受けるにあたり、大変ありがたく、また、助成を受けられたことを光栄に思っております。